

平成24年11月20日

日本万引防止システム協会
会員各位

日本万引防止システム協会
会長 山村 秀彦

『「万引き防止策」の強化について(通知)』に関する対応

拝啓 晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

警視庁生活安全総務課より、平成24年9月3日付けで、首記の注意喚起文(通知)が東京万引き防止官民合同会議の各団体に配信されました。当協会としても、会員各位が万引防止システムのご利用ユーザーに適切な情報提供を行い、模倣犯による犯行の防止に努めていただくよう、9月4日にご連絡申し上げましたが、再度お願い申し上げます。

システムに対する信頼低下を招きかねない風評に対し、「攻めの防犯」の発想で、ユーザーへ適切な情報提供することは、最終的に当協会全体の信頼度向上につながるものと確信しております。下記にいくつかの対策例をご提示しましたので、ご参考にしていただくとともに、ユーザーへの積極的なご対応宜しく願いいたします。

また、皆様からの情報提供もお待ちしております。

今後とも、当協会は、万引犯罪撲滅を目指す産業団体として、「万引犯罪をさせないお店作り」の推進に向けたさまざまな活動をして参ります。

敬具

<対策例>

お客様へのお願い：ハード対策

- ・ EASシステムの動作確認、タグ付けの徹底をする。
- ・ 万引され易い商品には、ケーブル式システムや自鳴式タグの併用等2重に対策をする。
- ・ ゲート発報時の声掛けの徹底や記録映像の確認等役割を決め、漏れの無いよう対応する。
- ・ 死角や店舗出入口等の重要箇所への防犯カメラの設置も有効です。
- ・ 商品整理、照度、通路幅の確保、見通しの良い売場作りにより、万引させない環境を作る。

お客様へのお願い：ソフト対策

- ・ 来店客への挨拶の励行、不審者への早めの声掛けを徹底する。
- ・ マイバックは店内では折りたたむなどのマナー遵守を掲示物等により訴える。
- ・ 店長・従業員・警備員等での情報の共有、防犯教育の推進を積極的に行う。
- ・ 売れ筋品や換金性が高い商品は棚卸頻度をアップすることにより、店員の意識を高める。
- ・ 万引の全件届出をスムーズに行うために、地域警察との連絡を密にする。
- ・ 店内の見回り強化、警察官や地域ボランティア巡回の促進等、地域社会との連携を強める。

今後、協会会員に検討いただきたい対策

- ・ シールド材に強いEASシステム等、不正行為に対して強いシステムの開発のお願い。
- ・ シールドされたバックを検知するゲートの導入を促進する。
- ・ 常習者対策として顔認証システム等の導入を促進する。
- ・ 窃盗団等の情報の一元化や防犯連絡網の構築に協力する。

以上